※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「錬成古文〈大学入学共通テスト対策　新装二版〉」尚文出版　「〈四訂版〉共通テスト対策古典完答 22」尚文出版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人としての基礎的ないし応用可能な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・古文・漢文にしろ、言語学習の基本は音読です。そして語彙の力が大切です。
・授業には常時、辞書（電子辞書も可）、文法書、国語便覧を持参してください。
・適宜文法書のドリル、漢文書を用いて予習復習に努めましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

（１）古典文法や単語の復習とともに、自ら読みこなし現代語訳できる力を養う。
（２）目的に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
　　言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
　　伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
（３）人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
古典に対する興味や関心を深めるとともに、将来にわたって古典に親しむ態度を養い、自分自身の生き方を豊かにしていけるよう多くの作品に触れる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯を通して古典に親しむ力を持つために、基本的な知識や読解の方法を身にけることができている。	・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	・積極的に言葉をもって他者と関わり、思いや考えを深めながら言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文・漢文基礎 ［教材］ 錬成古典ステップ1、2 文学史プリント	a：古典に関する基礎的な知識を身にてつることができている。 b[読]：身につけた知識をもとに、文章を解釈し、その解釈を表現することができている。 c：自身が学んだことを振り返り、その学びを見つめなおすことで主体的取り組むことができるよう調整している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振返りシート
二学期	古文・漢文発展 ［教材］ 錬成古典ステップ3 古典完答 文学史プリント	a：古典に関する基礎的な知識を身にてつることができている。 b[読]：身につけた知識をもとに、文章を解釈し、その解釈を表現することができている。 c：自身が学んだことを振り返り、その学びを見つめなおすことで主体的取り組むことができるよう調整している。	ワークシート 定 期 考 査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振返りシート
三学期	古文漢文応用 ［教材］ 古典完答 文学史プリント	a：古典に関する基礎的な知識を身にてつることができている。 b[読]：身につけた知識をもとに、文章を解釈し、その解釈を表現することができている。 c：自身が学んだことを振り返り、その学びを見つめなおすことで主体的取り組むことができるよう調整している。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間